

日本薬学会 第 143 年会 (2023 年)
趣 意 書

【ランチョンセミナー】
【キャリアデザインセミナー】

公益社団法人日本薬学会

日本薬学会 第 143 年会組織委員会

組織委員長 南 雅文

(北海道大学 大学院薬学研究院)

ご挨拶

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素から公益社団法人日本薬学会の事業に格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日本薬学会第143年会を、2023年3月25日(土)から28日(火)までの4日間、札幌市にて開催いたします。

日本薬学会年会は、日本の薬学関係者が一堂に会する最大規模の学術集会で、大学で教育・研究に従事する者、企業で医薬品の研究・開発に携わる者、病院や薬局で医薬品の適正使用を推進する者、行政の立場から医薬品の有効性・安全性の確保に努める者、さらに、将来の薬学および関連領域を担う大学院生・学部生など、7,000名を越える参加者が見込まれます。運営につきましては、北海道大学大学院薬学研究院内に組織委員会を設置し、目下鋭意準備を進めております。現段階では、すべてのセッションを現地開催する方向で準備を進めておりますが、状況に応じてハイブリッド開催にも臨機応変に対応したいと考えております。

薬学は、物理系、化学系、生物系、医療系、臨床系などの多様な学問からなる総合科学です。多様な学術領域の研究者が一堂に会し、研究成果を発表し議論することで、革新的な医薬品・治療法の創出につながる研究発展に資する年会としたいという強い思いを込めて、第143年会のテーマを「ファーマサイエンス：つながる・つきぬける - PharmaScience: Integration for Breakthroughs -」としました。また、「つながる・つきぬける」という言葉には、コロナ禍により諸活動が制限されることで蔓延する閉塞感を突き破り、直接的な人と人とのつながりを取り戻し、研究を活性化させたいとの思いも込めています。

本年会におきましても例年通り、会期中にランチョンセミナー、ならびに、学生のためのキャリアデザインセミナーの開催を予定しております。

つきましては、本趣意書をご高覧いただき、ランチョンセミナー、あるいは、キャリアデザインセミナーの開催にご協力くださいますようお願い申し上げます。年会の運営につきましては可能な限り経費節減に努めて参りますが、参加費のみで充実した年会を開催できない状況にあり、諸企業および諸団体からのご援助を得ることで運営をしております。本年会の趣旨にご賛同いただき、日本における薬学のより一層の発展のためご支援賜りたく、格別のご配慮をお願い申し上げます。

なお、拠出いただきました協賛金について、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき、「共催企業様と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に沿って、学会等の会合開催にかかる費用を公開することを了承いたします。

謹白

公益社団法人 日本薬学会
第143年会組織委員会
組織委員長 南 雅文



日本薬学会 第 143 年会の概要

1. 会議名称とテーマ

1) 会議名称

和文名：日本薬学会 第 143 年会

英文名：The 143rd Annual Meeting of the Pharmaceutical Society of Japan

2) 学会のテーマ

「ファーマサイエンス：つながる・つきぬける -PharmaScience: Integration for Breakthroughs -」

2. 主催および責任者名

公益社団法人 日本薬学会

会 頭：佐々木 茂貴

日本薬学会第 143 年会組織委員会

組織委員長：南 雅文（北海道大学大学院薬学研究院・教授）

〒060-0812 札幌市北区北 12 条西 6 丁目 TEL/FAX: 011-706-3233

3. 会 期

2023 年 3 月 25 日(土) ～ 28 日(火)

4. 会 場

北海道大学(札幌キャンパス)

5. 開催目的

公益社団法人日本薬学会は「くすり」に関係する研究者や技術者が学術上の情報交換を行い、学術文化の発展に寄与することを目的として 1881 年に設立された学術団体です。薬学部・薬科大学教員、製薬企業関係者、病院・薬局関係者がその会員の多くを占め、新しい医薬品の研究・開発・製造と安全性確認、臨床での適正使用の推進など、薬を使って様々な病気を克服することを目指した 1 万 5 千人を超える会員への情報源として機能しています。

日本薬学会第 143 年会は 2023 年 3 月 25～28 日の 4 日間、札幌市で開催いたします。薬学は、物理系、化学系、生物系、医療系、臨床系などの多様な学問からなる総合科学であり、それら多様な学術領域の研究者が一堂に会し、研究成果を発表し議論することで、革新的な医薬品・治療法の創出につながる研究発展に資する年会としたいという強い思いを込めて、第 143 年会のテーマを「ファーマサイエンス：つながる・つきぬける -PharmaScience: Integration for Breakthroughs -」としました。

第 143 年会では、例年と同様の特別講演、受賞講演、シンポジウム、一般学術発表（口頭・ポスター）等に加え、領域融合的な取り組みを推進するために、組織委員会がテーマを設定し、特別講演とシンポジウムが連動する『領域融合「つながる・つきぬける」セッション』会場を設けることを計画しています。関連するポスター発表を同一会場にまとめることで、一般学術発表も巻き込んで、本年会のテーマである「ファーマサイエンス：つながる・つきぬける」の実現に向けた取り組みを推し進めます。さらに、市民を対象とした公開講演会を通じて地域住民に対して医薬品はもとより保健衛生思想の啓蒙と薬学への理解を深める努力をします。

6. 開催計画の概要

1) 日程表

年 月 日	午 前	午 後
2023 年 3 月 25 日(土)	理事会	代議員総会・授賞式・市民公開講座
3 月 26 日(日)	会頭講演・特別講演・受賞講演・シンポジウム・一般口頭発表・一般ポスター発表・機器展示	ランチョンセミナー・キャリアデザインセミナー・特別講演・受賞講演・シンポジウム・一般口頭発表・一般ポスター発表・機器展示
	領域融合「つながる・つきぬける」セッション	
3 月 27 日(月)	特別講演・受賞講演・シンポジウム・一般口頭発表・一般ポスター発表・機器展示	ランチョンセミナー・キャリアデザインセミナー・特別講演・受賞講演・シンポジウム・一般口頭発表・一般ポスター発表・機器展示
	領域融合「つながる・つきぬける」セッション	
3 月 28 日(火)	特別講演・受賞講演・シンポジウム・一般口頭発表・一般ポスター発表・機器展示	ランチョンセミナー・キャリアデザインセミナー・特別講演・受賞講演・シンポジウム・一般口頭発表・一般ポスター発表・機器展示
	領域融合「つながる・つきぬける」セッション	

2) 参加予定者数 7,000 名(うち国外参加者数 約 100 名)

3) 国外参加者の国名:米国、英国、ドイツ、スイス、中国、韓国

4) 使用言語 日本語、英語(一部のシンポジウムおよび特別講演)

7. 組織委員会名簿

組織委員長	南 雅文	北海道大学大学院薬学研究院 教授
副委員長	小林道也	北海道医療大学薬学部 教授・薬学部長
副委員長	戸田貴大	北海道科学大学薬学部 教授・薬学部長
顧問(化学系)	周東 智	北海道大学大学院薬学研究院 教授
顧問(生物系)	松田 正	北海道大学大学院薬学研究院 教授
顧問(医療系)	原島秀吉	北海道大学大学院薬学研究院 教授
顧問(臨床系)	竹内伸仁	北海道薬剤師会 会長
プログラム委員長	佐藤美洋	北海道大学大学院薬学研究院 教授
副委員長(物理系)	前仲勝実	北海道大学大学院薬学研究院 教授
副委員長(生物系)	中川真一	北海道大学大学院薬学研究院 教授
副委員長(医療系)	小川美香子	北海道大学大学院薬学研究院 教授
総務委員長	市川 聡	北海道大学大学院薬学研究院 教授
副委員長	山田勇磨	北海道大学大学院薬学研究院 准教授
財務委員長	松永茂樹	北海道大学大学院薬学研究院 教授
副委員長	小林正紀	北海道大学大学院薬学研究院 教授
渉外委員長	菅原 満	北海道大学大学院薬学研究院 教授・北海道大学病院薬剤部長
副委員長	大西俊介	北海道大学大学院薬学研究院 教授
会場委員長	木原章雄	北海道大学大学院薬学研究院 教授・薬学研究院長・薬学部長
副委員長	佐々貴之	北海道大学大学院薬学研究院 准教授
広報委員長	脇本敏幸	北海道大学大学院薬学研究院 教授
副委員長	渡邊瑞貴	北海道大学大学院薬学研究院 准教授

8. 収支予算概要

収入概算

(単位:円)

項 目	金 額	小 計
参加登録料		63,450,000
一般会員: 予約 @10,000 × 3,650	36,500,000	
学生会員: 予約 @4,000 × 1,750	7,000,000	
非会員: 予約 @14,000 × 600	8,400,000	
一般会員: 当日 @12,000 × 400	4,800,000	
学生会員: 当日 @5,000 × 150	750,000	
非会員: 当日 @15,000 × 300	4,500,000	
非会員 (2 day pass): 当日 @10,000 × 150	1,500,000	
展示・広告		23,600,000
展示(日本薬科機器協会協賛金)	12,000,000	
ランチョンセミナー・キャリアデザインセミナー	9,600,000	
広告料	2,000,000	
助成・協賛・寄附		18,500,000
財団助成金・日本製薬団体連合会・地元企業等	12,500,000	
自治体補助金	6,000,000	
収入総額		105,550,000

支出概算

(単位:円)

項 目	金 額	小 計
年会準備費		33,050,000
会議費	850,000	
事務局運営費	12,200,000	
演題登録・システム運用 (システム構築と運用、プログラム印刷・発送、参加登録)	20,000,000	
年会運営費		71,500,000
会場費	21,500,000	
懇親会開催費	7,500,000	
会場設営・運営	21,000,000	
会場内シャトルバスの運行	2,000,000	
講師招聘費	9,000,000	
運営人件費	10,000,000	
雑費	500,000	
事後経費		1,000,000
事務局運営費	1,000,000	
支出総額		105,550,000

9. ランチョンセミナー・キャリアデザインセミナー 募集要項

日本薬学会第143年会において、昼食時間帯に、スポンサー企業が企画するランチョンセミナー、および、学生たちの将来への不安解消を手助けするため、企業様から直接、企業内容を紹介していただくキャリアデザインセミナーを以下のように募集いたします。

1) 募集内容

日本薬学会 第143年会 ランチョンセミナー・キャリアデザインセミナー

ランチョンセミナー・キャリアデザインセミナー共催金は、会場サイズに合わせ、以下のようになります。

大会場(1会場×3日間＝3社の募集)：1社あたり88万円(税込)(300席予定)

中会場(3会場×3日間＝9社の募集)：1社あたり66万円(税込)(200席予定)

小会場(3会場×3日間＝9社の募集)：1社あたり33万円(税込)(100席予定)

※ 新型コロナウイルス感染症対策として大きめの会場をご用意いたしますが、状況次第では各会場の収容人数を減らす可能性があります。

2) 共催費に含まれるもの

- ① セミナー会場使用料
- ② 控え室使用料
- ③ 音響設備費(マイクは座長用、講演者用、質疑応答用を予定しております)
- ④ 映像機材費(液晶プロジェクター1式、発表用 PC1台、PCオペレーター人件費、スクリーン1台、レーザーポインター1本、卓上ライト1個)

※ 基本発表機材以外の機材・備品をご使用の場合は、別途事務局へご相談下さい。

3) 共催費に含まれないもの

下記費用は共催金には含まれず、各社でご負担となります。

- ① 講演者・座長の謝礼、旅費、宿泊費
- ② 参加者昼食費

昼食のお手配については事務局が集約し、一括にて行います。

各セミナー(昼食) 単価:¥1,500(予定) お茶付・税込

(形式: 弁当形式 ・ 数量: 座席分)

- ③ 看板装飾・当日の会場運営要員
- ④ 案内パンフレット等の印刷物

※ 映像機材、参加者弁当等の手配の詳細につきましては、年会1ヶ月前ごろに改めてご案内申し上げます。

4) 注意事項

- ① 具体的な会場につきましては事務局にて決定の上、後日、通知いたします。
- ② 申込社が組織委員長の許可無くセミナー枠の全部または一部を第三者に譲渡・貸与もしくは申込社同士において交換することはできません。

5) 申込方法(申込〆切:2022年10月31日(月))

添付の申込書にご記入の上、FAX(011-706-3233)または E-mail(pharm143@pharm.hokudai.ac.jp)にて事務局にご送信ください。

6) 申込のお取り消しについて

申込書のご提出後は、原則、お取り消しはできません。あらかじめご了解ください。

7) 情報公開への同意について

日本製薬工業協会および日本ジェネリック製薬協会「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」、日本医療機器産業連合会「医療機器業界における医療機関等との透明性ガイドライン」に基づき、「共催企業様と医療機関および医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、学会等の会合開催にかかる費用を公開することについて、あらかじめご了解ください。

8) プログラム編成

ご予定のテーマ、講演者(仮)、座長(仮)について、申込書ご入力ください。本年会組織委員会と貴社との合意の上、決定することいたします。

決定後、講演依頼状等は各社にて御手配くださいますよう、お願いいたします。

9) 個人情報の利用目的

お名前、メールアドレス等の個人情報は、日本薬学会第 143 年会セミナー申込に関して、請求書、領収書、セミナー運営要項発送以外の目的には利用いたしません。また、個人情報は第三者へは開示いたしません。

10) その他

お申し込みいただいた企業様には、1 枠につき、参加証(5 名分)とプログラム集 5 冊を贈呈します。その他詳細については、お申込み後、後日ご案内いたします。

11) ランチョンセミナー・キャリアデザインセミナー担当者(申込および問合わせ先):

日本薬学会 第 143 年会組織委員会 事務局
総務委員長 市川 聡
北海道大学大学院薬学研究院 教授
〒060-0812 札幌市北区北 12 条西 6 丁目
TEL/FAX: 011-706-3233(事務局)
E-mail: pharm143@pharm.hokudai.ac.jp (事務局)

渉外委員長 菅原 満
北海道大学大学院薬学研究院 教授(北海道大学病院 薬剤部長)
〒060-0812 札幌市北区北 12 条西 6 丁目
Tel: 011-706-3923
E-mail: msuga@pharm.hokudai.ac.jp

渉外副委員長 大西 俊介
北海道大学大学院薬学研究院 教授(北海道大学病院 消化器内科)
〒060-0812 札幌市北区北 12 条西 6 丁目
Tel: 011-706-3746
E-mail: sonishi@pharm.hokudai.ac.jp

ランチョンセミナー申込書

年 月 日

公益社団法人日本薬学会
日本薬学会第143年会組織委員長 南 雅文 殿

申込企業名：
申込責任者：
住所：〒
電話：
メールアドレス：

日本薬学会第143年会におけるランチョンセミナーの開催に応募いたします。

記

1 セミナータイトル(仮)

2 講演者 (仮)

3 座長 (仮)

4 希望日および希望会場席数(□にチェックを入れてください)

第1希望 2023年3月 □26日(日) □27日(月) □28日(火)
会場席数: □大(300席予定) □中(200席予定) □小(100席予定)

第2希望 2023年3月 □26日(日) □27日(月) □28日(火)
会場席数: □大(300席予定) □中(200席予定) □小(100席予定)

第3希望 2023年3月 □26日(日) □27日(月) □28日(火)
会場席数: □大(300席予定) □中(200席予定) □小(100席予定)

※第143年会プログラム委員会で最終決定いたします。

【お申込み先】

日本薬学会 第143年会組織委員会 事務局
〒060-0812 札幌市北区北12条西6丁目
TEL/FAX: 011-706-3233(事務局)
E-mail: pharm143@pharm.hokudai.ac.jp (事務局)

キャリアデザインセミナー申込書

年 月 日

公益社団法人日本薬学会
日本薬学会第143年会組織委員長 南 雅文 殿

申込企業名：
申込責任者：
住所：〒
電話：
メールアドレス：

日本薬学会第143年会におけるキャリアデザインセミナーの開催に応募いたします。

記

1 セミナータイトル(仮)

2 講演者 (仮)

3 座長 (仮)

4 希望日および希望会場席数(□にチェックを入れてください)

第1希望 2023年3月 ☐26日(日) ☐27日(月) ☐28日(火)
会場席数: ☐大(300席予定) ☐中(200席予定) ☐小(100席予定)

第2希望 2023年3月 ☐26日(日) ☐27日(月) ☐28日(火)
会場席数: ☐大(300席予定) ☐中(200席予定) ☐小(100席予定)

第3希望 2023年3月 ☐26日(日) ☐27日(月) ☐28日(火)
会場席数: ☐大(300席予定) ☐中(200席予定) ☐小(100席予定)

※第143年会プログラム委員会で最終決定いたします。

【お申込み先】

日本薬学会 第143年会組織委員会 事務局
〒060-0812 札幌市北区北12条西6丁目
TEL/FAX: 011-706-3233(事務局)
E-mail: pharm143@pharm.hokudai.ac.jp (事務局)